

9. 騒音スペクトルの求め方 (例)

●使用方法

- ①与えられた仕様 (風量、静圧) にもとづきファンの大きさを選定する。
- ②そのファンの特性曲線 (別資料) から、「吸込口騒音」を求める。  
この値が、右図の測定位置における騒音レベルのA特性値となる。

●使用例

①ファンの仕様

風量：5400m<sup>3</sup>/h } NO.2½SRM4  
 静圧：294Pa } 1.5kW、1050min<sup>-1</sup>

②吸込口騒音

特性曲線より

吸込口騒音：71dB (A)

この値が、「測定位置における騒音レベル (A特性)」となる。C特性の値は、騒音スペクトル曲線のA、C特性の相対レベル差から、

騒音レベル (A特性)	A特性とC特性の相対レベル差	騒音レベル (C特性)
71dB (A)	5.0dB	76dB (C) (=71+5.0)

③オクターブバンド毎の音圧レベル

オクターブバンド中心周波数 (Hz)	63	125	250	500	1000	2000	4000	8000
測定位置における騒音レベル C特性 (dB)	76.0							
オクターブバンド毎の音圧レベル (dB)	64.5	72.5	70.5	64.5	66.0	63.5	61.0	57.0

